
目次

現在の登録状況・・・・・・・・・・	Page 1
今回提出物・登録内容・・・・・・	Page 2
オリパンフについて・・・・・・・・	Page 4
山中湖事件・・・・・・・・・・	Page 6
飲酒に関して・・・・・・・・・・	Page 8
諸連絡・・・・・・・・・・	Page 10
委員会室案内・・・・・・・・・・	Page 10
アンケート集計結果・・・・・・	Page 11
編集後記・・・・・・・・・・	Page 13

本日の会議の内容

- 13:00 ~ オリエンテーション委員会による説明
 - 13:20 ~ 生協による説明
 - 13:30 ~ 保健センターによる飲酒法指導
 - 14:10 ~ 体育課による救急救命法の指導
トレーニング体育館にて
-
-

現在の登録状況

L12_4	長副 8	S1_4	長副 14	S23_4	13
L12_5	長副会 14	S1_5	長副会 5	S23_5	長副 11
L12_6	長 1	S1_6	長副会 6	S23_6	長副 5
L12_7	長副	S1_7	副 1	S23_7	3
L12_8	長副 1	S1_8	長副会 10	S23_8	長副 30
L12_9	会 6	S1_9	長副 5	S23_9	長副 12
L12_10	長 23	S1_10	長副会 5	S23_10	長副会 16
L12_11	長副 3	S1_11	長副会 8	S23_11	長 2
L12_12	長副会 23	S1_12	長副会 11	S23_12	長副会 18
L12_13	長 1	S1_13	長副 9	S23_13	長副会 9
L12_14	長	S1_14	4	S23_14	長副会 17
L12_15	長副会 14	S1_15	長副会 15	S23_15	長副 13
L12_16	長副会 14	S1_16	長会 6	S23_16	長副会 30
L12_17	長副会 8	S1_17	長会 20	S23_17	長副会 24
L12_18	長会 6	S1_18	長副会 8	S23_18	長副会会 15
L12_19	長副 23	S1_19	長副会 13	インター	長副会 15
L12_20	長副会 14	S1_20	長副会 17		
L12_21	長	S1_21	長副会会 13		
L12_22	長副	S1_22	長副 12		
L12_23	長副会 9	S1_23	長副会 9		
L12_24	長副 20	S1_24	長副会 14		
L12_25	長 8	S1_25	長会 10		
L3_4	長	S1_26	長副		
L3_5	長副会 12	S1_27	10		
L3_6	長 19	S1_28	長副会 4		
L3_7	長副 4				
L3_8	長副会 25				
L3_9	1				
L3_10	長副会 20				
L3_11	長副会 12				
L3_12	副会 10				
L3_13	長副会 13				
L3_14	長副会 10				
L3_15	長副会 15				
L3_16	長副 17				

「長」はオリ長が登録済みであることを示す。
同様に「副」は副オリ長を、「会」は会計を示す。
数字はオリターの登録数である。

最新情報はクラス局のシステムにログイン後のメニュー
の「現在の登録状況」から確認することができます。

今回提出物・登録内容

1 今回の提出物・登録内容

今日中に提出するもの

「進行状況調査書」

3月17日(日)までに登録するもの

「合宿計画登録」

「プレオリ教室使用申請」(希望クラスのみ)

「オリター登録」(まだしていない方)

3月31日までに委員会室に提出するもの

「オリパンフ」2部

2 委員会への提出物

2 - 1 本日提出

「進行状況調査書」は皆さんのクラスオリの進み具合、その他委員会に対する要望を聞く為のものです。今回は進行状況調査書でオリター連絡会議の出席を取りますので、今日中に必ず提出して下さい。内容は単なるアンケートなので気軽に書いてもらって構いません。

2 - 2 オリパンフ提出

提出してもらったオリパンフは、来年への資料などとして保管します。また、もらい損ねた新生にも配布するため、2部以上を委員会室まで持参して下さい。内容に対しての検閲などは行っておりませんので、自由な発想に満ちたオリパンフを製作して下さい。

また、オリパンフは第三回オリター連絡会議に持ってきてもらっても結構です。

3 Webでの登録手続

「合宿計画登録」、「プレオリ教室使用申請」とも、オリ長 or 副オリ長のみが登録可能です。オリターの方は閲覧のみが可能になっています。登録するためには、クラス局のシステムにログインし、表示されるメニューから当該項目を選びください。締め切りは3月17日(日)ですので、忘れずに登録してください。

3 - 1 合宿計画登録

オリ合宿の内容・場所を委員会が把握し、有事の際に情報を把握する為に必要不可欠なものです。なお、ここに入力された情報は新生に向けて公開していく予定です。

登録内容は以下のとおりです。

宿泊旅館・最寄の病院

最寄の病院については、大変でしょうが必ず調べてください。なお、「住所」については完全な住所を調べて入力してください。(例：東京都目黒区駒場3-8-1)また、電話番号も必ず記入してください。

予約人数・予算

新生とオリター、それぞれの予約人数・徴収額を入力してください。ここに書かれた新生負担額は、新生に向けて配布される「Komaba walker」に掲載されるので最終的に決定した額を入力した方がよいです。

遅刻者対策

集合時間に間に合わない新生生がいるかもしれません。そんな時どのように対処するのか書いてください。出来る限り詳しくお願いします。

合宿のタイムテーブル

雨天時も考慮して、なるべく詳しく、行き先も含め具体的に入力してください。

わからない事項も、きちんと調べて、全ての事項を記入してください。

3 - 2 プレオリ教室使用申請

プレオリで大学の教室を使用したいクラスのみ申請してください。

4月2日(諸手続き)から4月4日(合宿出発前)まではプレオリ期間となっています。例年、プレオリでは飲み会を行うところが多いようですが、その前に駒場キャンパスの説明をしようとしているクラスもあるのではないのでしょうか。そのために教室が使えると便利でしょう。各クラスが個別に申し込むと混乱が生じる恐れがあるため、プレオリのための教室使用申請はオリ委が一括して学生課に行います。使用希望教室と日時を第3希望まで受け付けています。使える教室が少ないため、一クラスにつき最大2時間までの使用とさせていただきます。当然締め切りに間に合わないことがあると、教室が使用できない場合もあります。

使用できる教室は以下の通りです。

1101 教室：196人 1102 教室：196人
1106 教室：374人 1108 教室：210人
1311 教室：137人 1312 教室：136人
1313 教室：352人 1321 教室：137人
1322 教室：136人 1323 教室：536人
1331 教室：248人 1341 教室：120人

なお、使用可能教室は暫定的なものです。

変更があった場合はホームページやMLにてお知らせします。

3 - 3 オリター登録

まだオリター登録を行っていないオリターは、できるだけ登録を行ってください。

また、各クラス、オリ長、副オリ長を必ず登録するようにしてください。また、携帯電話番号やメールアドレスなどが変更になった場合は早急に登録情報を変更してください。

オリパンフについて

1 オリパンフに載せる情報

以下の情報を必ず盛り込んでください。

- ・自治団体役員を紹介
- ・原理研究会などの危険な団体について

前回もお知らせしましたが、オリパンフには何を書いても構いません。皆さんの裁量にお任せします。ですが、オリ合宿等でクラス役員を選出する際に参考とする為に、クラス役員についての情報と新入生が危険な団体につかまり不利益を受けない為に原理研などの危険な団体についての情報は必ず載せてください。詳しくは第一回オリ連資料の該当ページを参考にしてください。

2 クラス援助

クラス援助とはオリエンテーション委員会によるオリターの方々への現金援助のことを指します。援助を受けるには一定の基準を満たす必要があります、ここではその基準について詳しくお知らせします。

2 - 1 援助の条件

当委員会では、以下の3つの条件を満たすことでオリター連絡会議の出席に応じてオリパンフ製作代援助を行います。

- ・オリパンフ2部を3月31日までに当委員会室まで持ってくる
- ・オリパンフの印刷代紙代の領収証を4月14日までに提出すること
- ・オリ合宿決算報告書と領収証を4月14日までに提出すること

援助額の目安は上限3000円を目安とします。

学生会館において印刷すれば、50人分のオリパンフを作る為に2ページ(B4、1枚)につき75円で出来ると考えられます。(製版1回50円 印刷10枚5円)

2 - 2 領収書の注意事項

クラス援助の対象となる領収証は、以下の要件を満たしている必要があります。

- ・発行日が2002年1月30日から4月6日の期間であること

- ・宛名が「入学年度(2001年度)+科類+クラス名」となっていること

- ・但し書が「印刷代」もしくは「紙代」
具体的な品名が書いてあること

- ・店名もしくはそれに代わる印が押されていること

- ・値段を - と円で挟むこと(金額改竄防止の為、必ずしもこの限りではない)

これらの条件で支障が生じるクラスは本日中に担当のところまでいらしてください。なお、1月30日以前に印刷製本を終えてしまい、領収証が無くて困る、という方は申し出てください。個別に対応します。

2 - 3 援助額算定・交付

期日(4月14日)までに提出された領収証をもとに、委員会で援助額の算定を行います。その際、推定される金額を大きく上回る場合、オリターの方々に説明を求めるともありますのでご了承ください。その上で、前述の目安の援助金を交付します。援助金の交付は第四回オリター連絡会議にて行

われます。領収書は希望するクラスに第四回オリター連絡会議で返却いたします。

<領収書の例>


2 - 4 学友会の援助制度

クラスの自主的活動については、オリ委に加え、学友会の方でも援助を行っています。詳しくは学友会連絡委員(クラス役員)もしくは学友会学生理事会にお問い合わせください。

3 両面印刷のすすめ

両面に印刷する限りにおいては学友会とオリ委の援助額を超える事は無いでしょう。資源の節約の為に御協力をお願いします。

冊子形式に印刷・製本するにはある程度の技術が必要になると思いますが、この冊子を参考にするなどして、がんばってみてください。

領収書		2002年3月2日	 オリエンテーション出版 キャンパスプラザA1 03-5454-4349
2000年度入学理科V類0組様		¥10,000 -	
内訳	但 印刷代・紙代 として		
税抜金額	上記正に領収いたしました		
消費税等(%)			

山中湖事件

前回はこの山中湖事件について、かなり漠然とした話だけを紹介しました。今回は、具体的にどのような事件だったのかを説明します。このような事件を起こさないために、具体的にはどうすればいいのだろうか。オリターの間で考える手がかりにしてください。

山中湖における水死事故について

1984年4月15日(日)午前1時30分頃、山梨県南都留郡山中湖村平野において新入生オリエンテーションのため合宿中の教養学部2年生6名が、水難事故に遭遇し、うち5名が死亡した。その氏名は次のとおりである。

生存者 A君

死亡者 B君、C君、D君、E君、F君
(遺体発見順)(記事中では実名)

1984年4月14日(土)から4月15日(日)の2日間、新入生オリエンテーションのため、文科類5組の2年生20数名がいわゆるオリターとなり新入生40数名とともに山中湖畔山中グリーンロッジで合宿していた。当日のオリエンテーションの日程を終えたあと、15日午前1時半頃、2年生のオリターであった上記6名が、飲酒したまま3人乗りの手漕ぎボートに乗り、オールがないまま竹竿で舟を動かして湖上に出たが、沖合いに達する間もなく、舟は転覆した。6名は舟から投げ出され、そのうち舟につかまっていたA、Bの両君は、大声を聞いて助けにきた舟に救助された。2名のうちB君は病院に運ばれたが、午前3時31分に死亡し、Aくんはしばらく休んだのち元気を回復しその後病院で診察ののち警察で事情聴取を受けた。

一方、行方不明となった4名の捜索が、地元警察、消防団を中心に50～60名によって行われた。ダイバーの協力も得て捜索した結果、午前7時15分C君の遺体がボートで捜索中の消防団員に発見され収容された。午後1時過ぎ

残る3名が行方不明のまま、ダイバーと地引網による捜索はひとまず打ち切れ、ボート等による捜索も3時半過ぎ打ち切られた。

4月16日(月)は、午前9時30分からダイバーを含む大がかりな捜索が再開され、午前11時10分頃D君、ついで11時27分E君の遺体が発見され、引き上げられた。残る1名の行方不明者を求めての捜索が、午後からも続行されたが、午後4時過ぎ打ち切られた。

翌4月17日(火)、遺族および学部側の要請により前日よりさらに大がかりな体制が組み立てられ、地元をあげての捜索が続行された結果、午後2時55分、湖岸手前5メートルの湖底からF君の遺体を発見、収容した。

この事故に際し、学部としてとった措置は次のとおりである。15日午前2時30分頃、教養学部学生課補佐は、学生部長、学生課長から知らせを受け、直ちに学部長・事務部長を始め関係者および家族に連絡し、その結果、学部は午前5時半頃学部事務官2名を山中湖に急行させ、また学部内に対策本部を設置した。午前8時半頃、評議員、第6委員(学生担当)、クラス担任と学生課職員を現地に派遣し、現地での対策や地元警察などとの連絡に当たらせることとした。その後捜索が長引くに伴って、評議員、第6委員長を含む教官3～5名、事務官4～6名をこもごも派遣し、現地での処理に当たらせた。

ニュースを聞いて、15日午前9時過ぎから16日夕方まで共同、読売、朝日、毎日、産経、東京、東京大学新聞、NHK、フジテレビ等の各記者が来学し、学部長、評議員、第6委員長等がそれぞれインタビューに応じた。報道関係者に対して表明された教養学部長の見解は次のとおりである。

教養学部長談話

今回のような事故が、学生の重要な自治活動の一つであるオリエンテーション中におこったことは、誠に残念なことである。亡くなった学生諸君とその御遺族の方々には心からおくやみを申し上げたい。

合宿等により上級生との間で交流をはかるといことは、新入生のクラスのみならず各人の人格形成の上で大きな役割をはたす大切な活動であり、大学生らしい自治活動の一つとして今まで大過なくこれを行ってきたことを、学部としても十分に評価している。今回の事故は、この活動の計画自体に無理があったりしたために生じたことではないので、これによって今後のこのような自治活動に規制を加えたり、学部が介入したりする必要はないと考えている。しかし、自治にはそれに伴う責任があることを改めて徹底させ、今後二度とこのようなことのおこらないように警告するとともに、真に自治の名にふさわしい態勢を確立するよう呼びかけるつもりである。

地元の方々には大変なご迷惑をおかけしたにもかかわらず、捜索その他に多大のご協力をいただいた。同じ大学のものとして深くお詫言申し上げるとともに、厚く感謝の意を表したい。

さて、この事件にはどのような問題点があったのでしょうか。次のようなことが考えられます。

1. オリター側の問題

この事件は、酔ったオリター6人がボートを無断に使用して引き起こした事故です。新入生のためのオリ合宿だから、オリターが楽しめばいい、というものではありません。それにも関わらず、毎年、「オリターが騒いでしらけた」「オリターだけ楽しんでいる」などの声もあります（私の前任者の上クラのオリターは、飲酒運転したあげくに、駐車場からの帰り道にどぶに落ちたそうです。もし事故ってたら、間違いなく第二の山中湖事件ですね）。

もちろん、しっかりしたオリターが大部分を占めているのは分かります。しかし、一部の心ないオリターが事件を起こしただけで、オリ合宿の存続自体にも関わってくるのです。このことを、オリターの皆さんは肝に銘じておいて下さい。

2. 緊急時の対応のまずさ

山中湖事件では、事故が発覚した後まず警察へ通報されて、その後の消防署への通報が遅れたため、救急車の到着が遅れ、まだ息のある状態で救出された一人も死なせてしまう結果となりました。「緊急時対応マニュアル」とでも言うべきものができていれば、一人の生命が助かっていたかも知れません。次回（3月29日）のオリター連絡会議で、「緊急時対応マニュアル」のベースを配布する予定ですが、それまでに、各クラスで病院の場所などを調べて、合宿最終計画書に記入して下さい。

3. 応急処置ができなかったこと

山中湖事件では、救急隊員が来るまでの間に、人工呼吸ができるオリターが一人もおらず、まだ息のある状態で救出された一人も死なせてしまう結果となりました。オリターが人工呼吸法など救命法を知っていれば、一人の生命が助かっていたかも知れません。そのために、今回のオリター連絡会議の後半に体育科の先生に救急法の講義をお願いして、人工呼吸法などを学ぶのです。今回のオリ合宿だけでなく、いざというときに必ず役立つものですから、是非マスターしましょう。

以上、山中湖事件の原因について書いてみましたが、一番重要なのは、オリターの皆さんがしっかりすることです。オリターが軽はずみな行動をとらなければ、このような事故は起きなかったでしょう。このことを頭に置いて、救護法や緊急時のマニュアルが必要な事態が生じないようにオリ合宿を行って下さい。

飲酒に関して（保健センターより）

これから大学生生活を始められ、オリエンテーション、クラブ活動などの際に飲酒の機会に遭遇することが増えることと思います。そのような機会にしばしば飲酒による事故が起っています。飲酒事故を防ぐために以下のことを是非覚えておいてください。

1) お酒を飲むことが法律で禁じられている場合があります。

未成年者は、心身の発達を害することがあるとの理由から「未成年者飲酒禁止法」により飲酒が禁じられています。また運動機能、判断力低下により事故の危険があるため、飲酒運転が「道路交通法」により禁止されています。よって以下のことは原則としてお酒が飲める年齢に達した人を対象にしています。

2) お酒は、『飲める人』と『飲めない人』がいます。

お酒の飲める人と飲めないは体質で決まります。お酒の正体はエチルアルコールという成分です。エチルアルコールは胃や小腸で吸収され肝臓で分解されてアセトアルデヒドになりさらにアセテートに分解されます。アセテートの大部分は肝臓から血液の中に入って、全身の組織に行き渡り、最終的には二酸化炭素と水になります。飲めない体質の人は、アルデヒド脱水素酵素2型（ALDH2）の活性が遺伝的に欠如、あるいは低下しているためにアセトアルデヒドの分解がスムーズにいかず体内にたまってしまいます。アセトアルデヒドは悪酔いの原因となり吐き気や気持ち悪さなどの症状を引き起こします。日本人では全人口の40 - 50%がアルデヒド脱水素酵素2型（ALDH2）の活性が遺伝的に低下しているとされています。つまり2人に1人が『お酒が飲めない』あるいは『お酒に弱い』体質なのです。このような人が無理にお酒を飲むと頭痛、めまい、吐き気などの自律神経刺激症状が起こります。体質ですので、ご両親が『お酒が飲めない』人で、これまでお酒を飲んだことがない人は『お酒に弱い』体質である可能性が高いので、注意が必要です。

また『飲める人』でもアルコールの量が多すぎると、肝臓での分解処理が間に合わず、アルコールは血液を介して体を巡り、中枢神経を麻痺させます。その結果、正常な思考力がなくなって、『酔い』の状態になったり、呼吸や循環の中枢が麻痺して、『急性アルコール中毒』で死に至ることもあります。

3) お酒には致死量があります。

お酒の主成分はエチルアルコールという薬物で、麻酔薬と同様脳を麻痺させる作用を持っています。大量に飲めば、呼吸中枢が麻痺して死んでしまいます。体重60kgのお酒に強いタイプの人がいっきに飲んだ場合、日本酒7合以上、ウイスキーならダブルで8杯以上が致死量になります。いろいろな種類のお酒を飲む、いわゆる『チャンボン』の場合は飲んだ量がわからなくなり、飲酒量が多くなる傾向があります。目安としては、ビール大瓶一本あるいは大ジョッキと日本酒一合、ウイスキーダブル一杯がそれぞれエタノールに換算して同等（24 - 28g）の量になります。毎年新入生歓迎のシーズンや学園祭のシーズンには急性アルコール中毒で病院に運ばれる人が急増しますが、東京消防庁によると毎年アルコール急性中毒による出動件数は約10,000件（そのうち男性2/3、女性が1/3）で、毎年数名の方が死亡しています。これは救急車で搬送した数のみですので実際にはもっと多くの人が急性アルコール中毒で病院に運ばれています。

4) 『酔う』とは脳が麻痺することです。

お酒を飲むと、アルコールは胃や腸で吸収されて血管へ入り、血液中のアルコール濃度が高くなる

にしたがって脳の麻痺が強くなります。同じ量を飲んでも、酔いの進み方は人によっても異なるし、飲むペース、疲労度、寝不足、食事をしているかによっても違います。飲酒事故では急性アルコール中毒以外に、飲酒にともなう酔いから取り返しのつかない事故を引き起こすことがあります。危険を避けるためには酔いの程度を見ながら飲む量を調節することが大事です。

『ほろ酔い』：このあたりで切り上げるのが上手な飲み方

飲酒量の目安：日本酒1 - 2合、ビール大瓶1 - 2本、ウイスキーW1 - 2杯

大脳皮質が麻痺して、理性の抑制がとれるため、おしゃべりになる、陽気にはしゃぐ、脈がはやくなる、判断力が鈍るなどの症状が出てきます。おいしく飲めるのは、この段階までです。これを過ぎると危険域に入ります。飲める人がゆっくりしたペースで飲んでいれば、かなりの長時間でもない限りほろ酔いで留めることができますが、自分ではほとんど酔っていないつもりでも、アルコールの作用で判断力や反射神経が鈍っているので、車の運転をしたり、ボートに乗ったり、泳いだりしてはいけません。とっさの判断ができず、反応も遅れて、事故を起こすケースが多いからです。

『酩酊』：いわゆる酔っぱらい。これ以上飲むと、急性アルコール中毒の危険あり

飲酒量の目安：日本酒2 - 3合、ビール大瓶2 - 4本、ウイスキーW2 - 4杯

足がふらつく、何度も同じことを言う、吐き気がする、記憶がとぎれるなど、大脳辺縁系に麻痺がおよぶと、外から見ても「酔っぱらった」状態になります。バランス感覚が麻痺して、階段や駅のホームからの転落などの事故をおこしたり、けんかなどのトラブルを起こすのは、この時期です。トイレに立った時、フラフラするな、と思ったら、飲むのはストップしましょう。一緒に飲んでいる人がこのような症状になったら、すぐに切り上げさせるようにしてください。これ以上飲むと、急性アルコール中毒の危険が待っています。

『泥酔』：危険、絶対に一人にしないこと。症状によっては病院へ。

飲酒量の目安：日本酒3 - 5合、ビール大瓶4 - 5本、ウイスキーW4 - 6杯

立てなくなる、言葉が支離滅裂、意識がもうろう、激しく吐くなど大脳全体が完全に麻痺した状態になります。吐いたものがのどにつまり窒息したり、線路や道路に眠り込んで電車や車にひかれたり、凍死するのこのような状態の時です。

『昏睡 死』：救急車を呼ぶ。死の危険がある。

飲酒量の目安：日本酒5 - 7合、ビール大瓶5 - 7本、ウイスキーW6 - 8杯

ゆすっても呼んでも反応しない、大小便がたれ流しになるなど、脳幹と脊髄がほとんど麻痺状態になり全身麻酔をしたのと同じ状態になります。吐いたものが喉につまって窒息したり、麻痺が呼吸中枢のある延髄まで及ぶと死んでしまいます。手当が間に合って死なずにすんだとしても、脳の損傷で植物人間になることもあります。一刻も早く救急車を呼びましょう。普通のペースで飲んでいる限り昏睡までになってしまうことはめったにありませんが、イッキに飲むと脳の麻痺もイッキに進みます。あっという間に泥酔を通り越して昏睡になってしまいます。イッキ飲みはとても危険です。

5) 無理に飲ませたら犯罪です。

いやがる相手に「イッキイッキ」とはやして飲ませたら急性アルコール中毒で死亡してしまった。こんな場合、飲ませた側に責任があります。刑法の犯罪の間われることもあります。脅迫して無理矢理飲ませた場合は「強要罪」、最初から酔いつぶすことを目的として飲ませた場合は「傷害罪」、酔いつぶれた仲間に必要な保護をしなかった場合は「保護責任遺棄罪」、相手が酒に慣れていないのを知っていて、無茶な飲み方をさせ、急性アルコール中毒になれば「過失傷害罪」、死亡すれば「過失致死罪」に問われることもあります。飲まされて被害をうけた側が、裁判で損害賠償を請求することもできます。飲ませる側の責任は重大です。飲酒事故の加害者にならないよう、酒の強要が人権侵害である(アルコール・ハラメント)であるとの認識が必要です。

諸連絡

委員会室案内

1 理系朝鮮語クラス

理系朝鮮語クラスのオリ合宿は文系朝鮮語クラスと合同で行ってもらうことになりました。それに伴い、理系クラスの中からオリ合宿に行けないクラスが出てくる可能性もあります。実際に来年度のクラス編成がどうなるかは、第三回オリター連絡会議までわかりません。下クラがなくなるという事態が起こった場合には、オリター連絡会議の出席状況、オリ合宿準備の進行状況によりオリエンテーション委員会がオリ合宿の中止をお願いするクラスがあります。ご了承ください。

2 クラス写真

2002年度のクラス写真は、写真文化会をお願いすることになりました。詳しい説明は次回のオリ連で、写真文化会のほうからあります。一枚350円くらいになるとの事です。

3 オリター登録情報

オリター登録されている方は、ログイン後のメニューから「ユーザー登録情報変更」を選択して、今一度登録情報をご確認ください。特に最近、メールアドレスの間違いが目立ち、委員会からの連絡がとれない人が見受けられます。また、メールアドレスにe-groups等のメーリングリストサービスの投稿アドレスを指定の方は、投稿許可に「oc@a103.net」を追加してください。メールを送信することができません。

1 委員会室の利用

もう春休みに入り、皆さん準備で忙しいことと思われます。準備の途中でわからないことがある場合には、まずこの冊子やWebを確認してください。それでもわからないことがあれば、委員会室までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせはできる限りメールを利用していただきますようお願いいたします。直接委員会室に来られても結構ですが、担当者がいない場合、十分な回答ができない場合があります。

オリエンテーション委員会

場所 キャンパスプラザA103

電話 03-5454-4349

FAX 03-3466-1865

メール oc@a103.net

お詫び 前回オリター連絡会議でWeb受付ページのURLに誤りがありました。申し訳ございません。

2 ホームページ

オリエンテーション委員会のホームページは

<http://www.a103.net/ori/>

です。サークル向け、クラス向け、新入生向けに各種の情報が載っています。オリパンフを作る時の参考にもできますし是非一度ご覧ください。連絡事項等もWebで告知することが多いですので、オリ長などは、頻繁に確認されることをお勧めいたします。

アンケート集計結果

アンケート集計結果は以下のWebでも確認できます。

http://www.a103.net/ori/2002/class/reference/1st/cls_1st_enquate_answer.html

第一回オリター連絡会議 アンケート集計結果

回収率（出席率）

出席：62%(47) 欠席：38%(29)

Q1.どこでオリター連絡会議のことを知りましたか

- 1.立看 77%(36)
- 2.人づてに聞いた 26%(12)
- 3.委員会室まで来た 0%(0)
- 4.たまたま巡り会った 0%(0)
- 5.その他

知らないまま終わって人から聞いた

クラス役員について

Q2.以下の役員についてどう思いますか。

役員名	必要	必要ない	どちらともいえない	初めて聞いた
自治委員	66%(31)	13%(6)	17%(8)	4%(2)
代議員	45%(21)	13%(6)	32%(15)	11%(5)
カリキュラム委員	17%(8)	36%(17)	13%(6)	32%(15)
スポーツ大会委員	11%(5)	40%(19)	21%(10)	26%(12)
ロッカー委員	77%(36)	9%(4)	13%(6)	2%(1)
平和擁護委員	15%(7)	49%(23)	11%(5)	21%(10)
生協委員	70%(33)	15%(7)	9%(4)	6%(3)
学友会連絡委員	34%(16)	26%(12)	21%(10)	17%(8)
駒場祭連絡委員	77%(36)	11%(5)	9%(4)	4%(2)
学生会館連絡委員	43%(20)	17%(8)	26%(12)	13%(6)
駒場寮連絡委員	11%(5)	68%(32)	17%(8)	4%(2)
コンパ委員	94%(44)	6%(3)	0%(0)	0%(0)
クラス会計	85%(40)	4%(2)	9%(4)	2%(1)
シケ長	94%(44)	2%(1)	4%(2)	0%(0)

オリパンフについて

Q3.オリパンフ制作はどの程度進んでいますか

- 1.まだ何もしていない 68%(32)
- 2.原稿依頼 23%(11)
- 3.原稿集め 6%(3)
- 4.編集 2%(1)
- 5.印刷・製本 0%(0)
- 6.完成 0%(0)

オリ合宿について

Q4.オリ合宿の計画はどのくらい進んでいますか

- 1.なにもしていない 0%(0)
- 2.場所決定 13%(6)
- 3.宿決定 57%(27)
- 4.内容決定 23%(11)
- 5.下見 7%(3)

Q5.費用は一泊二日でいくらですか

新入生,オリター

10000,未定	12500,17500
13500,未定	14000,未定
15000,10000	15000,15000
15000,15000	15000,15000
17500,17500	18000,3000
18000,8000	20000,10000
20000,15000	20000,15000
20000,20000	20000,20000
20000,20000	20000,未定
20000,未定	23000,25000
30000,未定	

第二回オリター連絡会議

下クラ上クラの関係について

今年は理系朝鮮語ができるため、オリ合宿の下クラ上クラの対応が変化すると見込まれます。場合によっては、残念ながらオリ合宿を行えない上クラも出来ます。

Q6 .まずは理系朝鮮語について聞きます。誰が連れて行くべきですか。

- 1 . 文系朝鮮語クラス 21%(10)
- 2 . 理系の朝鮮語ではないクラス 26%(12)
- 3 . 文系朝鮮語の有志とオリ合宿が行えないかも知れない理系クラス 40%(19)
- 4 . オリ委がオリターを集める 11%(5)

今年も、朝鮮語の件以外にも下クラがなくなる可能性はあります。下クラがなくなるとオリターがあまるということになります。どこかのオリエンテーション合宿を中止ということになります。もしクラスを分割してオリエンテーション合宿を行うとクラスが二分されるため、下クラ内部に悪影響も出かねません。

Q7 .下クラが減った場合どうすればいいですか

- 1 . 下クラ分割 4%(2)
- 2 . オリター減らず(合宿中止) 68%(32)
- 3 . 上クラ統合 21%(10)
- 4 . その他
 - ・上クラだけで合宿する。オリ合宿は上クラの交流にも役立つ。
 - ・上クラだけで自己満足のためにいくか、完全に中止する。後者の場合、下見等で経費がかかっていれば、それを返済する(全部は無理でも一部)などの処置が必要だと思えます。

その他オリエンテーション委員会に対する質問ご意見がありましたら書いてください

- ・下クラ分割は、下クラの意思疎通に影響を与えるかも
- ・がんばりましょう
- ・大変だと思いますが頑張ってください
- ・オリエンテーション委員会と生協との関係がよくわからない。
- ・連絡会議があることに気付いていなかった人がすごく多い。立て看だけでは分かりづらいです。
- ・Webサイトが去年の状態のままとなっているのは、どうかと思います。更新は秋～冬ごろになるとだけでも明記していただくと安心します。

その他の質問に関する回答

理系朝鮮語に関しましては、アンケート結果を考慮して、この冊子の「諸連絡」の欄にありますように、対応させていただくことになりました。

第一回のオリター連絡会議におきましては、立看だけでなく、各クラスの自治委員に電話連絡するなどして、出席率の向上に努めました。第二回以降は、春休み中ということもあり、大学に来る機会も少ないと思いますので、Webやメールでの告知がメインになるかと思いますが、お見逃しのないようお願いいたします。

生協との関係は、同じ学内のものとして互いに協力している関係にあります。山中湖事件以降のオリ合宿は生協が関与するようになったこともその一因です。

Webサイトの更新に関しましては、担当者が駒場祭と同一人物であるため、駒場祭終了直後の時期は、そこまで手が回らなかったのが事実です。Webを作ってみたという人がいましたら、オリ委へ入ってみませんか？

編集後記

今回もさっさと冊子を作ってしまった(完成日2月26日)。明後日は他の委員を振り払って一人でスキーにでも行こうかしら。

> その他委員の皆様へ

切り貼りしたければ勝手にしやがれ!

C L S ひでじ

スキー実習楽しかったですね。でも疲れましたね。単位来るといいですね。来年も1年生だったらまたいけるのかな? 今回の表紙は気合が入ってますね。でも切り貼り少ないですね。スキーの後徹夜で作ったんですけどね。やっぱり疲れが残ってますね。Kは人間的欠陥の持ち主じゃありませんよね? カシスオレンジは酒じゃないんですかね? おいしいですよ? これじゃまるで人間的欠陥の持ち主ですね?

T a n a K a s C I A

原稿を打ちこんでいたら「急性アルコール中毒」が「急逝アルコール中毒」に誤変換されてしまった。逝っちゃってるんですか????? ちなみに、この冊子C L Sの作ったものから大幅改訂してしまいました。原型は3割程度かなあ。。。。

もうすぐ20歳の降年者 うめっきい

槌音の編集を頼まれていたのですが、それをすっぽかして表紙を作成しておりまして、二日間徹夜してしまったのです。という訳で今回は「すっぽかす」ということについて少々述べさせてもらおうと思います。

今まで数々のものをすっぽかしてきましたが、ここ一年ぐらいに”ニガイ”とよばれる大事な大事な四つのお宝を獲るのをすっぽかしてしまいました。足りないのは努力なのか、運なのか、以前ある御方は”才能”とのたまっておりましたが。

さて、世の中は慈悲深いものでして、自らの手をすり抜けていってしまったものですら、もう一度手に入れる機会が与えられるのでございます。四月からは、今度こそはその機会をモノにしようと思つたいと日々考えているわけですが、またも「すっぽかし」が起こってしまうのか、起きてしまえば一年間の足踏みの期間が生まれてしまうので、戦々恐々としているのでございます。

「すっぽかす」という行為は非常に怖い怖いものでございます。おりたあの方々は是非とも新入生達に「ニガイには気をつける」と伝えて下さるようお願いいたします。怖い怖い饅頭怖い。

今度はお茶が怖い財政局長